

阿蘇大橋地区復旧技術検討会（第7回）

<議事要旨>

開催日：平成30年9月5日

【砂防】

- 斜面上部、熊本側ガリ一部および大分側凸部について、斜面状況に応じた対策が適切に進められており、今後対策が必要な箇所について、有人により施工できる環境が整った。

【道路】

- 道路欠壊部の斜面は、モニタリング結果から降雨による斜面の浸食が確認されたため構造物（欠壊防止工）を保護する観点から浸食対策が必要である。
- 立野橋は、橋体の損傷が著しく、今後の地震による立野橋基礎の揺れ等が斜面全体へ悪影響を与えることが懸念されることから撤去する。